



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ

2023年



クラブ会報・情報委員会 金子勇人・飯塚荘一・坪井良廣・吉田栄佐・園田誠

SERVE TO CHANGE LIVES
R.I 会長 ジェニファーE. ジョーンズ

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。
パストガバナー 前原 勝樹

会長 澤田匡宏 幹事 久保田寿栄

5月22日号

第3218回例会 (5月15日(月)第2例会)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 来訪者紹介
4. ロータリー情報アワー
5. 出席100%表彰
6. ゴルフコンペ表彰式
7. 米山記念奨学会クラブ創立記念特別寄付表彰盾贈呈
8. 会長の時間
9. 幹事報告
10. 委員会報告
11. 卓 話 「きりゅうシネクラブの活動について」
きりゅうシネクラブ 神山 綾 様
12. 点 鐘

ようこそビジター

〈卓 話 者〉きりゅうシネクラブ 神山 綾 様

〈米山奨学生〉匡 姣蓉 様

ロータリー情報アワー

ロータリー情報委員 本田雄一郎 君

今日は、耳寄りなロータリー情報をお届けします。

日本のことわざに「風が吹くと桶やが儲かる」

意味 ある事によって全く無関係と思われる所に影響や結果が出る事の例え

大風が吹くと土ほこりがたつ、土ほこりがたつと眼を痛める人が増える、これにより眼がみえなくなる人が増える。盲人は三味線で生計を立てるので、三味線の需要が増える。三味線は、猫の革が張られるので猫の数が減る。すると、ねずみが増える。増えたねずみにかじられる桶が増えることから桶屋が儲かって喜ぶという話です。

「ロータリークラブに入ると長生きする」へーそーなのか？ 帯広 RC の中小企業診断士メンバーさんの YouTube 「ロータリーを科学する誰も言わなかったロータリアンであるメリット」是非見て下さい。

簡単に説明します。私自身も健康に関する興味は年齢が高くなるにつれて高まってきました。健康に対するリスクファクターは何か？①タバコ②お酒の飲みすぎ③ストレス④運動不足で、あつたりします。一番のリスクファクターは、孤独です。人付き合いの無い人は、死亡リスクが高まります。これは海外の研究で証明されています。

Q、世界で最も孤独な国民はどこでしょう？ A、日本

その中で一番危ないのは日本人のおじさんです。

ですから、仲間や友人を作ることがものすごく大切だということです。

そこで、RCに入会してロータリアンになると

- ①今まで自分の知らない人がメンバーの中にたくさんいます。
- ②メンバーは、例会やロータリー活動に参加します
- ③そこで色々なメンバーと交流があり、仲良くなっていく
- ④この様に良い人間関係が出来ることは、孤独で無くなり人間を幸福にすることに繋がる
- ⑤これによりロータリアンは孤独で無くなり
- ⑥結果的に長生きできるという話でした。
「ロータリアンになると長生きできる」ある事によって全く無関係と思われる所に影響がでるという話でした。

出席100%表彰

園田 誠君 9回
中山賀司君 5回
丹羽あゆみさん 4回



ゴルフコンペ表彰式

5月14日伊香保 CC

優勝 横山嘉孝君
準優勝 田中 淳君





**米山記念奨学会
クラブ創立記念特別寄付
表彰盾贈呈**

桐生 RC 創立 70 周年
記念事業で寄付致しました

米山奨学金授与

匡 姣蓉 様



会長の時間

皆さん、こんにちは。昨日 5 月 13 日にゴルフ部の春のゴルフコンペが伊香保国際カンツリークラブで行われました。14 名の会員の皆様に参加していただきました。あいにくの雨模様でしたが、1 日中降っていたわけではなく楽しく無事に終了致しました。そして、今回は腰塚ゴルフ部長のお計らいでプレー費も格安にて行うことができました。腰塚ゴルフ部長には心より感謝申し上げます。また、表彰式と懇親会も美喜仁さん本店で行われゴルフに不参加の方にも参加いただき、久しぶりのゴルフの後の懇親会を開催することが出来ました。ゴルフ部の活動も腰塚ゴルフ部長のリーダーシップのもと練習会なども開催され親睦を深める良い機会が増えています。引き続きゴルフ部へのご協力をお願い致します。

本日の本田パスト会長のロータリー情報アワーは大変興味深いお話でした。「風が吹けば桶屋が儲かる」のことわざから「ロータリークラブに入会すれば寿命が伸びる」という帯広のロータリアンのユーチューブからの引用でした。人が寿命を縮める最大の要因は「孤独」だそうです。ロータリークラブに入会することにより交友範囲が広まり、奉仕活動を通じて社会貢献をしながら「孤独」という寿命を縮める最大の要因を取り除けるのです。確かにロータリークラブには老若男女、様々な職業の人が在籍しています。また、前向きで勉強熱心な方も大勢いらっしゃいます。そうした方とお話をして刺激を受けることは大変よいこととします。「ロータリークラブに入会すれば寿命が伸びる」を大いに広め会員拡大につながれば良いと思いました。

《報告》

- ・5/8 例会終了後、定例理事会
- ・5/9 次年度理事役員予定者会議
- ・5/11 森ガバナースタッフ会議
- ・5/13 富岡かぶら創立 20 周年 会長、幹事
ライラ研修会 青木さん、桐生 RAC 栗崎幹事
桐生第一高校 IAC 田村先生、生徒 1 名
- ・5/14 ゴルフコンペ 伊香保国際カンツリークラブ

《予定》

- ・例会終了後、クラブ協議会
- ・5/16 クラブ管理運営セミナー
大友会長エレクト、中山副幹事
森ガバナーノミニ、松島地区研修委員
- ・5/18 地区三役会議 森ガバナーノミニ
後藤地区幹事
- ・5/21 2023-2024 地区研修協議会
次年度 大友会長、中山幹事、
松島クラブ研修リーダー、腰塚会員増強委員長
青木青少年奉仕委員長、須永群馬第 2 分区
A ガバナー補佐、Randolph グローバル補助
金委員長
森ガバナーエレクト、後藤地区幹事、
地区副幹事 桑原君、飯塚君、柳君

幹事報告

- ・米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」が届いております。
- ・わたらせ養護園より「とんがりやね」が届いております。
- ・桐生南、桐生西、桐生赤城の各 RC より週報到着。
- ・次週例会は、22 日早朝例会です。
点鐘：午前 7 時 場所：鳳仙寺となります。
5 月 28 日は、渡良瀬川クリーン運動参加の為、午前 8 時 30 分松原橋公園集合です。29 日は、清掃に振替の為、休会です。次回、桐生倶楽部での例会は、6 月 5 日となりますので、お間違えのないようお気を付けください。
- ・例会終了後、クラブ協議会を開催致しますので、理事役員委員長は、よろしくお願い致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(令和 5 年 5 月 15 日)
総員 69 名：出席 51 名
令和 5 年 4 月 17 日例会修正出席率：74. 1%

😊 **ニコニコボックス**

澤田匡宏君…昨日はゴルフ部コンペお疲れ様でした。腰塚ゴルフ部長のおかげで楽しく、また特別価格にてプレー出来ました。ありがとうございました／久保田寿栄君…昨日のコンペお疲れ様でした／水越稔幸君…澤田会長、久保田幹事、先日は桐生倶楽部からのお願いを快くお受けくださりありがとうございました。残り 1 カ月余り、ご自愛専一にて頑張ってください／水越稔幸君…先日交通モニターのイベントで、アイサイト搭載の車に試乗して来ました。僕の時は止まりましたが、次の方の時にはボードに激突していました(笑)100%安全ではないので、運転にはくれぐれもご注意ください！／田中淳君…昨日ゴルフ部コンペお疲れ様でした。準優勝できました／横山嘉孝君…昨日のゴルフコンペ優勝しました／岩崎靖司君、亀山貴史君…結婚祝／小林雅子さん…誕生祝／園田誠君、中山賀司君、丹羽あゆみさん…出席 100%表彰。

卓 話



「きりゅうシネクラブの活動」について

桐生シネクラブ
神山 綾 様

きりゅうシネクラブの神山綾と申します。
きりゅうシネクラブは、桐生市内のさまざまな場所で映画の上映会を開催しております。その都度、会場や雰囲気、シーズンに合わせて映画をセレクトして上映しています。2019年に、ともに桐生市出身で現在は映画業界で働いている私と村田悦子の二人で、きりゅうシネクラブを立ち上げ、ゆくゆくは桐生に映画館をつくることを目標に活動しております。

今日は、きりゅうシネクラブの活動内容のご紹介とともに、桐生に映画館をつくることに対する考えをお伝えできればと思っております。そこで共鳴いただける方、応援いただける方がいらっしゃいましたら、是非繋がりをもちたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

まずは神山の自己紹介からさせていただきます。
私は1984年生まれの39歳です。桐生市天神町が実家で、北小学校→北中学校→前橋女子高校と桐生で育ったあと、東京の大学に進学し、就職してからはずっと映画業界で働いております。

実は親戚が桐生にかつて存在した映画館・オリオン座を経営していたので、高校生までは恩恵を受けてたくさん映画を劇場で鑑賞させてもらっていました。映画館で映画を観る幸せを無意識レベルで享受していたので、街には映画館があるべきだというのが根底にあります。就職活動の時に自分は何がしたいかと考えた際、「桐生に映画館をつくりたい(復活させたい)」と思い、そのために仕事で色々と勉強しようと考えようになりました。「桐生に映画館をつくること」を目標にして、映画館を運営する興行会社や配給会社で仕事をし、神奈川県厚木市にある映画館で支配人を務めるなどのキャリアを重ねてきました。現在はNPOで、文化庁が主催する若手映画監督の育成事業に携わっております。その仕事の傍ら、桐生に戻ってきては、きりゅうシネクラブの上映活動をしております。

きりゅうシネクラブは2019年の秋に活動を開始しまして、記念すべき第1回は、実はこちらの桐生倶楽部会館で開催しました。その時は、かない屋さんのマキコレワインとコラボレーションをして、ワインを美味しく味わいながら楽しめる映画ということで『ボンジュール、アン』という作品を上映しました。お陰様で大変盛況でして、多くの方に楽しんでいただきました。



その後、12月にはクリスマスに因んだ映画『スモーク』を西桐生駅裏にある食と器 ming で上映したり、梅田のドッグラン・FORESTRIP でカンヌ国際映画祭パルムドッグ賞受賞作『パターソン』を上映したり、カイバテラスでイギリスで一人の女性が本屋さんをたちあげる姿を描いた『マイ・ブックショップ』を上映したり、と会場やシーズンに因んだ作品をセレクトして上映会を続けております。

活動を始めてすぐにコロナ禍になってしまったので、制限されたなかでの活動となってしまったのですが、なんとか今まで継続し、ありがたいことに多くのお客様にリピーターとなっていただいております。

最終的に映画館をつくるのが目標ですが、正直、桐生から離れて暮らして長い私達が、いきなり桐生に戻ってきて映画館の運営を始めても上手くいかないということは経験上よく分かっています。なので、まずは仲間づくりから始めよう、「桐生に映画館があったらいいね」という機運を作ることから始めようということで、このような移動上映会の開催という手段を取っています。移動上映をすることで桐生全体を映画館にしようというコンセプトです。ひとつの場所を拠点にするのではなく、色んなところで映画の上映をすることで、桐生のことが見えてくるかな…という考えもありました。さらに上映する場所にちなんだ作品をセレクトすることで、その場所だからこその映画鑑賞体験ができることを狙いにしました。

お客さんに、知っていたけどまだ行ったことがない場所に行くきっかけをつくってもらう。そうすることで、会場になる場所と、お客さんの出会いが生まれる。

上映場所にちなんだ作品を上映することで、他では経験できない鑑賞体験ができる。という考えですが、上映会ごとに「そこでしか味わえない映画鑑賞」の機会が生まれていて、とても感動することが多いです。そして有難いことに、常連さんのお一人が、この活動を素敵なパンフレットにしてくださいました。桐生で見つけた面白いこと、素敵な場所などを発信している「桐遊さんぽ」さん作成のパンフレットをお持ちしておりますので、ぜひご覧いただければと思います。



このような形で上映会を開催しながら、仲間づくりを進めておりますが

少し違った角度での上映会の実績もあるので、ご紹介させていただきます。

一昨年、キッズバレイが主催する中高生を対象としたワークショップがきっかけでした。

「古本を活用した募金活動で得た利益から、自分たちだからこそできる社会問題を解決してみよう」という中高生による夏休みの「ソーシャルインパクトチャレンジ」が行われ、「きりゅうシネクラブを支援しよう」というゴールが設定されたのです。

ソーシャルインパクトチャレンジは「every本(エブリぼん)」と名付けられ、古本にメッセージを添えて展示し、本を通じた人々との交流とシネクラブへの寄付を募る「つながり図書館」が開催されました。

お陰様でたくさんの方の寄付金が集まり、きりゅうシネクラブに提供されることになりましたが、シネクラブは「ただお受け取りして終わりにしたくない」ということで every 本メンバーに映画上映会の共同開催を提案。今度は映画上映会に向けて動き出すことになりました。

どんな上映会にしたいか、誰に来てほしいか、どんな映画を上映するか…数ヶ月をかけてじっくりミーティングを重ね、every 本メンバーの思いを込めた上映会が企画されました。

上映作品のテーマは、プロジェクトで学んだ SDGs 17 のゴールから興味のあることを掘り下げたところ、「ジェンダー平等」「まちづくり」が大テーマとなりました。シネクラブから候補作品を何作品か紹介し、実際に鑑賞して話し合った結果、荻上直子監督『彼らが本気で編むときは、』を上映することになりました。

『彼らが本気で編むときは、』は『かもめ食堂』の荻上直子監督がトランスジェンダーの女性と彼女のパートナー、そして育児放棄された少女が織りなす共同生活を描いた人間ドラマ。日本だけでなく世界中の映画祭でも上映され、第 67 回ベルリン国際映画祭 テディ審査員特別賞・観客賞などの高い評価を得ました。

メンバーからは「映画や LGBTQ については捉え方もそれぞれだと思うので、様々な人の意見を聴きたい」「LGBTQ についてもっと知りたい」という意見があがり、上映後に来場者どうしの意見交換やゲストを招いたトークを行うことも決まりました。

お客さんとの意見交換を行うというアイデアを中高生のメンバーが自分達で考え出し、直接お客さんに呼びかけ、いくつかのグループに分かれて意見交換が行われたんです。それが時間をオーバーするほど活発なものになり、これには驚きました。中高生の頃の私にはできないと思います！映画がきっかけで会話が生まれ、上映会がコミュニティとしての機能を果たした大きな事例となりました。これは映画をつかった教育活動としても良いモデルになるのではないかな、と考えております。

そしてこれこそ私が桐生でつくっていききたい映画館に繋がります。私は映画館をただ運営するのではなく、「地域コミュニティの拠点としての映画館」を営んでいくことが重要だと思っています。コミュニティの拠点として、そこに集う人々の「会話」を生むこと。それが継続していくことで、高齢者の孤独の解消など地域課題の解決にも

繋がれると考えています。といいますか、それは私が厚木市で支配人を務めていたときに取り組んでいたことでもあるので、実は実績もあるので、実現は可能だと確信しています。

最後に、次回の上映会について告知させてください。次回は6月 17 日(土)・18 日(日)に、旧須藤邸さんにて『スペンサー ダイアナの決意』を上映します。

素晴らしく豪華なお屋敷である旧須藤邸さんでの上映作品は、やはり豪華なお屋敷が舞台の作品が良いのではないかなと思い選びました。クリスマスにイギリスのロイヤルファミリーがエリザベス女王の別邸に集まってクリスマスを過ごす様子、そのなかでダイアナ妃がどのような立場で、どう振る舞っていたかを描いた本作、見ごたえもありますので是非味わっていただけたらと思います。

また、私は桐生タイムスさんに月に一度コラムを掲載いただいております。毎月第 3 月曜日、まさに本日のタイムスに掲載されますので、よろしければご一読いただけますと幸いです。

以上でお話しを終了とさせていただきます。

きりゅうシネクラブに集う様々な人々の繋がりを大事にしながら仲間をつくり、桐生に映画館をつくれるように頑張っていますので、少しでもご興味をいただける方は、お声がけいただけますと幸いです。

本日はどうもありがとうございました。

本日の食事

✿本日のお花✿



たつ吉

ゴルフ部懇親会
5月14日美喜仁にて

